

観音寺市立学校再編計画検討委員会会議概略

(第11回会議)【公開用】

日時	平成21年3月17日(火) 午後7時30分～午後9時10分
場所	共同福祉施設2階
出席者	委員18名(欠席2名)、 事務局7名

会議次第

- ・ 議題
- 1. パブリックコメントについて
- 2. その他

討議概要

(会議録署名人を指名後、議題に入る。)

1. パブリックコメントについて

- ・ 前回議論した3.「再編の枠組みに関すること」に対する見解(案)を提案、あわせて答申の会長試案を提示し議論した。
- ・ 今回までの議論を反映した答申(案)を作成し、次回会議で審議することとした。

◎ 委員発言の主旨(同種の発言はひとつに要約。)

- * 統合時期の5年後、10年後という期間はひとつの目安。耐震化や少子化、経済情勢など様々な条件で優先順位が決まってくるので、例えば5年以内といっても同時というわけではないし、少々ずれることもあると思う。
- * 地域全員の賛成は難しいが、「地域の理解と同意」は必要。答申に盛り込めないか。
- * 答申は再編の方向性を示す。今後、教育委員会が策定する実施計画のなかで具体的な時期や場所などが決められていくことになる。
- * 中学校区内にこだわりすぎず柔軟な判断をしてもよいのではないか。
- * ひとつの中学校区に複数の小学校は必要と思う。ただ、小学校6年間クラス替えがないことも同じ意味で不都合があるのでは。
- * 三豊市ではさらに小規模な学校が存続している状況では住民の理解は難しいと思う。
- * 1クラス10人以下にならないと、保護者や地域は話にのってこないのでは。
- * あまり小規模になってから統合して大きな学校へとなると、子どもたちのカルチャーショックは大きい。他地域では、それまで「列に並ぶ」ということがなかったため意味が理解できず悔しい思いもしたと聞く。子どものことを考えると過度の負担を与えない統合のタイミングがあると思う。
- * 大人になると昔を懐かしんでとか過去の経験にとらわれて考えてしまうが、子どもは白紙に近い状態での経験となるので、純粋に子どもたちにとって何が望ましいかということに重点をおいて考えれば良いと思う。もちろん地域も大事だがバランスの問題である。
- * 旧観音寺地区で、幼稚園2園は少ないように感じるが私立幼稚園も保育所もかなりあり、市立幼稚園から小学校へ進む数はそう多くないのが実情。大野原・豊浜地区とは事情が異

なる。

- * 地元で立場的に厳しい委員がいるのは理解できるが、ここではある程度の基本線を答申として出し、個人としての意見は教育委員会が実施に移る段階で反映させるほうが良いと思う。
- * パブコメには激しい反対意見もあったが、検討委員会としては、その地域の成り立ちや伝統は理解したうえでの議論であり、絶対的な正解があるわけではないが、子どもたちの将来のために良かろうと思うことを委員会の意思として一致して答申にまとめればと思う。
- * ここで議論されたことは、ベストではなくベターな案かもしれないし、委員それぞれは色々なものを背負って泣く泣くの結論かも知れないが、検討委員会としての結論は必要だと思う。

2. その他

- ・ 次回は、3月26日（木）に会議を行うこととした。